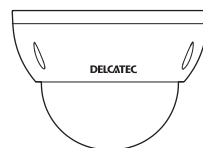
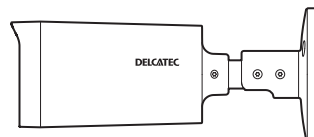


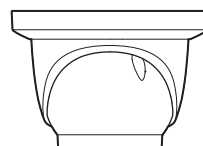
**電動可変焦点
ドーム型同軸カメラ
CCE3CDZ1**



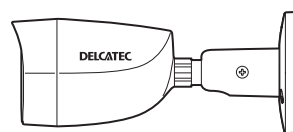
**電動可変焦点
バレット型同軸カメラ
CCE3CBZ1**



**固定焦点
ドーム型同軸カメラ
CCE3CDF1**



**固定焦点
バレット型同軸カメラ
CCE3CBF1**



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。




- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに	2	その他	18
安全上のご注意	3	使用上のご注意	19
使用上のお願い	5	設置上のご注意	21
録画について	5	このマニュアルについて	23
使用上のご注意	5	サポートサービスについて	24
設置のご注意	5		
防水性能について	5		
動体検知について	5		
本製品の概要	6		
準備	7		
接続・設置方法	8		
接続前の本体の準備	8		
接続図	8		
設置の前に	10		
カメラを壁または天井に固定する ..	10		
設定	16		
設定について	17		


安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。


 危険	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性が想定される内容を示しています。
 警告	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く


警告

 **指定の電源で使用する**


- デジタルビデオレコーダー（DX アンテナ製 CCE3R シリーズ）の PoC 端子に接続して使用する。
PoC を利用せずに接続する場合は、別途 DC12V の外部電源等の機器が必要です。

 **分解、改造、修理はしない**


感電・火災・故障の原因となります。故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

 **ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない**

- ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っばるなどをしない。
- 電源ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

 **お手入れは、PoC 端子からの給電を止めてから行う**


感電ややけどの原因となります。

 **異常があるときは、すぐに使用を中止する**


次のような異常時は、接続ケーブルを抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

- 煙がでる、変な臭いがする
- 内部に水や昆虫、物が入った
- 異音が鳴る
- コードや本体の外部が破損、劣化している


火災、感電、けが、故障の原因となります。

 **結露した状態で使用しない**


故障の原因となります。電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。

 **本製品にホースなどで直接水をかけない**


火災や感電の原因となります。

 **ぬれた手でさわらない**


感電の原因となります。

 **電源を入れたまま配線工事をしない**

火災や感電の原因となります。

 **雷が鳴り出したら本体やコードに触れない**

感電の原因となります。

 **雷のときは配線工事をしない**

感電の原因となります。

 **警告**
**次の場所に設置しない**

- 強度の不足する場所、不安定な場所
落下や転倒によるけがの原因となります。
- 継続的に振動が発生する場所（工事現場など）
落下や転倒によるけがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所
湿気や湯気による故障の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスが発生している場所
爆発によるけがの原因となります。
- 可燃物のそば
 - わらぶき屋根の軒下
 - ベランダなど、洗濯物や布団などがカメラに触れる場所
 - 風により可燃物が飛んできてカメラを覆う恐れのある場所
 火災の原因となります。

**設置、点検時は次のことに注意する**

- 設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。
感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- 足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。
落下や転倒によるけがの原因となります。
- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
けがや故障の原因となります。
- ケーブル類は正しく配置する。
引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。
落下によるけがの原因となります。
- 台風のあとや積雪のあとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。
点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください

い。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。

- 取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。
落下による破損、けがの原因となります。

**電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する**

電気工事士の資格がない場合、電気工事をすることは、法律で禁止されています。

**本製品を壁面に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける**

不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニヤ板など）には取り付けしないでください。落下により、けがの原因となります。

**乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない**

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

**土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない**

絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

**土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする**

感電の原因となることがあります。

**取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確かめる**

固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

**コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する**

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

**お手入れの注意**

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。

**定期的に点検する**

取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の周囲温度が急激に変化した場合や0℃以下になった場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

設置のご注意

- 本製品をセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

防水性能について

- 本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP67（耐塵・耐水性）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。
- カメラのマイク孔に雨水が入ると、一時的に通話ができなくなることがありますが、故障ではありません。雨水が排出すると通常に通話ができます。
- 本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラやセンサー部などの内部が結露する場合がありますが、しばらくすると解消します。

動体検知について

動体（人や動物）がいなくても検知する

- カーテン、炊飯器や電気ポットなどの蒸気を検知している
- カメラの前に動くものがある
- エアコンの風が直接当たる
- 直射日光などの強い光が当たる
- 不安定な場所に設置している

動体（人や動物）がいても検知しない

- カメラの前に障害物がある
- カメラの周囲温度が高い

本製品の概要

本製品は、DX アンテナ製デジタルビデオレコーダーの自動カメラ登録機能に対応した同軸カメラです。本製品と DX アンテナ製デジタルビデオレコーダーを接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●PoC 対応

全機種 PoC (Power over Coaxial) に対応。電源を敷設しにくい場所にも設置が可能です。

●F1.7 レンズ (対応機種のみ※)

少ない光量しかない薄暗い場所でも鮮明な撮影が可能な明るいレンズ (F1.7) を採用しています。

●防水防塵

保護等級 IP67 に適合した防水防塵タイプで、屋外での撮影も可能です。

●CMOS センサー

高画質 CMOS センサーを搭載し、高精細な Full HD 映像を撮影可能です。

●デイ/ナイトモード

カメラレンズの周囲に赤外線 LED を配置し、夜間や暗い場所でも被写体をクリアに撮影できるデイ/ナイトモードを搭載しています。(0ルクスでも IR 照射範囲であれば、撮影可能です。) デイ/ナイトモードは、周囲の明るさを感知して自動的に切り替わります。(手動でのデイ/ナイトの固定も設定可能)

●動体検知録画対応

常時録画のほかに、撮影映像に動きがあった場合に自動で録画を開始する動体検知録画に対応しています。

※ F1.7 レンズは右記の機種で採用しています。CCE3CBF1、CCE3CDF1

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

準備

接続・設置方法

STEP1 本製品を接続する

接続前の本体の準備

●静電気の除去

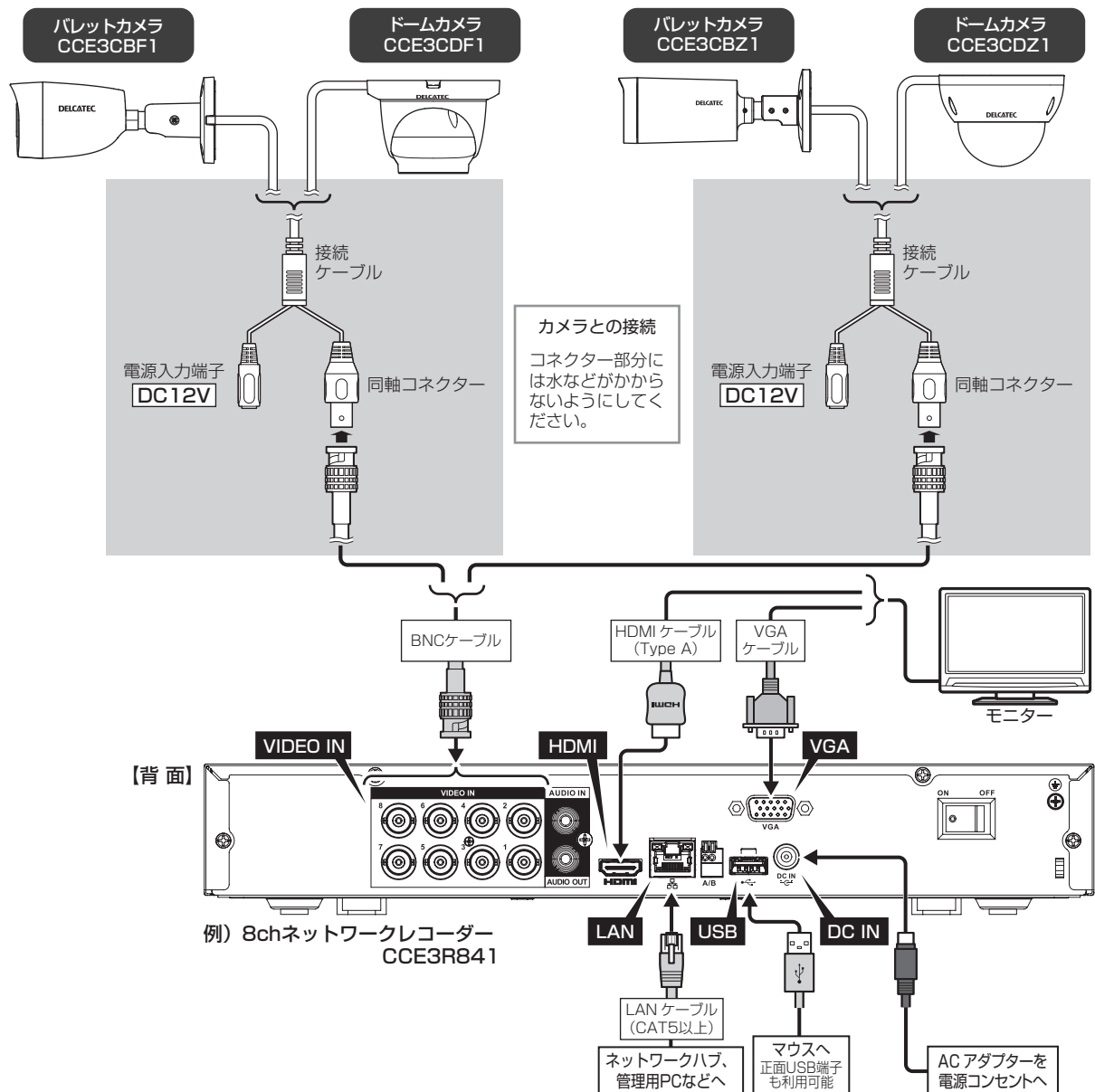
本製品に触れる前には必ずアース等に触れて静電気を除去してください。


●必要な周辺機器やケーブルなどを準備の上、システム機器の電源は切ってください。

接続図

本カメラの設置工事を始める前に、監視カメラシステム全体の構成を確認してください。デジタルビデオレコーダー（DX アンテナ製 CCE3R シリーズ）の PoC 端子に接続してしばらくすると、デジタルビデオレコーダーに接続したモニターに映像が表示されますので、ご確認ください。

●デジタルビデオレコーダー管理画面については、デジタルビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



 PoC を利用せずに接続する場合は
別途 DC12V の外部電源等の機器が必要です。

※ 同軸カメラの最大電力値

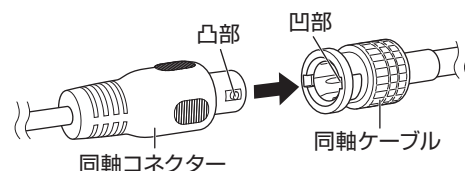
CCE3CDZ1 : 5.2W / CCE3CBZ1 : 7.2W / CCE3CDF1 : 4.9W / CCE3CBF1 : 2.8W

STEP2 防水加工をする（屋外設置の場合など）

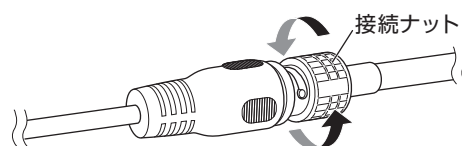
ケーブルに水がかかる可能性がある場所に設置する場合には、必ず防水加工をお願いします。

重要 屋外などケーブルに水のかかる可能性のある場所に設置する場合には、使用しない端子やケーブルを自己融着テープとビニルテープで防水加工してください。

- 1 同軸コネクタの凸部を、同軸ケーブルの凹部に合わせて奥まで差し込みます。

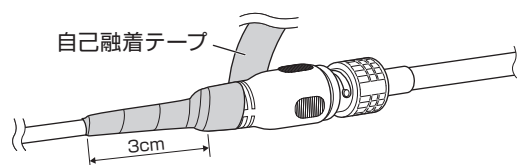


- 2 同軸ケーブルの接続ナットを矢印の方向に止まるまで回して固定します。

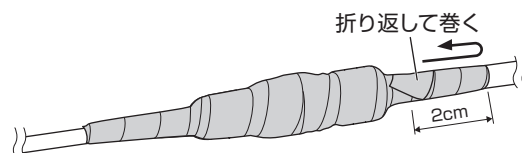


- 3 コネクタの末端から 3cm 程度手前のところから自己融着テープ（市販品）を巻き始めます。

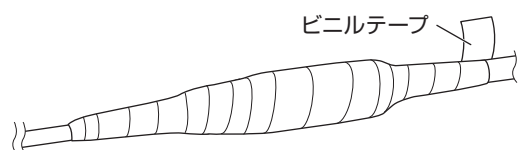
※ テープは、長さ 1.5 倍に引張りながら、幅の 1/2 が重なるように巻いてください。



- 4 反対側のコネクタ末端から 3cm 程度のところまで巻き終わったら、そこから約 2cm 程度折り返して巻いてください。
巻き終わったら指でおさえて圧着してください。



- 5 その上に、ビニルテープ（市販品）をすき間のないように巻き付けます。



- 6 （オプション）防水処理が完了したら、ケーブルを防水ジャンクションボックス（別売）に入れます。

STEP3 設置する

設置の前に

カメラを取り付ける前に以下の内容について確認してください。(➔ 21 ページ「設置上のご注意」の内容も必ずお読みください)

- カメラの総重量や振動、不随する部品の総重量などに十分に耐えられる強度がある場所を確保してください。やむを得ず強度が不十分な場所へ取り付ける場合は十分な補強を施してください。
- 同軸ケーブルなど必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。
- 金属製または木製の壁や天井などに取り付ける場合
 - ・ カメラを取り付けた後のカメラの向きを確認してください。
 - ・ 万が一カメラが落下した際に害がない位置に取り付けているのかどうかを確認してください。
 - ・ 安定した位置にカメラの固定ネジが取り付けられるかどうかを確認してください。
- その他の壁や天井に取り付ける場合金属または木製のボード（例えばモルタルや石膏ボード）については十分な補強を施して設置してください。

- 重要**
- けが防止のため、必ず手袋を着用して作業を行ってください。
 - ネジ類は必ず添付のものを使用してください。

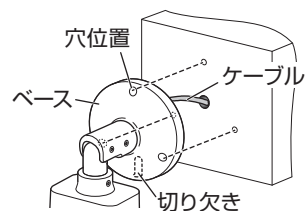
カメラを壁または天井に固定する

- 重要** カメラを設置するには以下の内容に注意してください。
設置にあたり、危険な状態が予想される場合は、ただちに作業を中止し、必ず安全を優先した対応を行ってください。
- 故障の原因となるため、製品のカバーをはずした際や設置の際は、静電気に十分注意して取り付けてください。
 - 製品に酸やアルカリが付着しないよう注意してください。付着した場合は、速やかにふき取ってください。
 - ほこりが付着した際は、眼鏡ふきのような柔らかい布でレンズに傷をつけないように注意してふき取ってください。
 - ドームカバーの保護ビニールは、指紋などの付着防止のために、設置完了までつけたままにしてください。
 - カメラを設置するときには、落下防止ケーブルなどで機器が地面に落下しないようにしてください。落下させると破損や故障の原因になります。また設置作業に必要な十分な場所の確保をしてください。
 - 屋外設置の場合は、ベース部の溝（切り欠き）が下向きになるように設置してください。

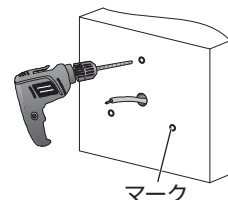
CCE3CBZ1 の場合（壁面取付の例）

1 取り付け位置の中央付近に径 18mm 以上の穴を開け、穴にケーブルを通したらベースを壁にあてがい、穴位置をマークします。

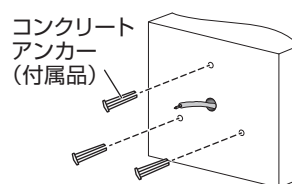
- ※ ベースの切り欠きが下向きになるようにして、穴位置を決めてください。
- ※ 外部配線の場合はベースの切り欠きからケーブルを通して配線してください。



2 マークした穴位置に、φ 6 ~ 6.5mm のドリルで 30mm の深さのガイド穴をあけます。

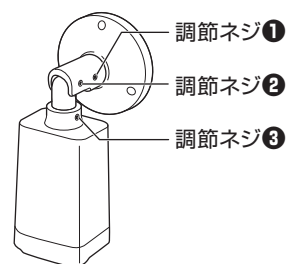


3 コンクリートアンカー 3 本（付属品）をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

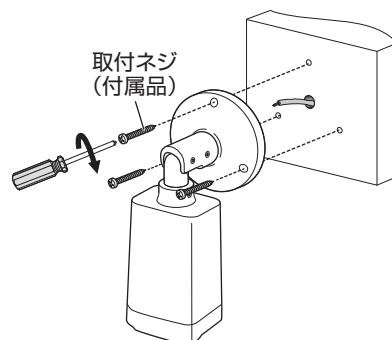


4 カメラを壁面に取り付ける前に、右図 3ヶ所の調節ネジをトルクスレンチ（付属品）で緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。

- ※ 詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順 6 でおこないます。

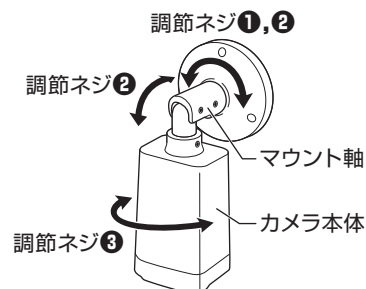


5 すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。ガイド穴に合わせて、取付ネジ 3 本（付属品）をドライバーで締めつけて固定します。



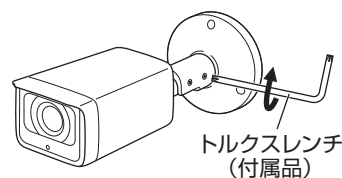
6 カメラの方向を調整します。

- 1) 調節ネジ ② を緩めると、カメラ本体の角度・方向を変えることができます。
調節ネジ ①、② を緩めると、マウント軸を回転させることができます。
調節ネジ ③ を緩めると、カメラ本体を回転させることができます。



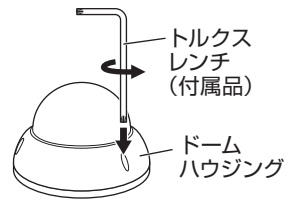
- 2) カメラを目的の監視方向に向け、調整した角度や方向がずれないように注意しながら、各調節ネジをしっかりと締め付けます。

7 カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を微調整してください。



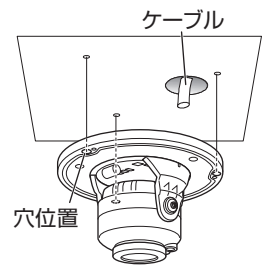
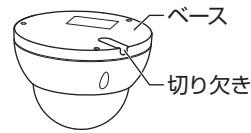
CCE3CDZ1 の場合（天井取付の例）

- 1** 本機を設置するにはドームハウジングを開ける必要があります。
トルクスレンチ（付属品）で3本のネジを緩めて本体からはずします。
※ ネジはドームハウジングからはずれません。

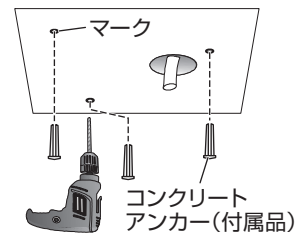


- 2** カメラを取り付ける位置を決め、カメラを天井にあてがい、穴位置をマークします。

- ※ 外部配線の場合は、ベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。ケーブルの向きに注意して方向を決めてください。
※ 壁面に取り付ける場合は、ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。



- 3** マークした穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。

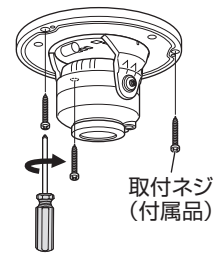


- 4** コンクリートアンカー3本（付属品）をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

- 5** カメラを取り付けます。

天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、ガイド穴に合わせて取付ネジ3本（付属品）をドライバーで締めつけて、カメラを固定します。

- ※ 必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。

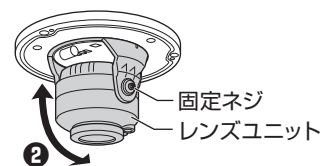


- 6** レンズの方向を調整します。

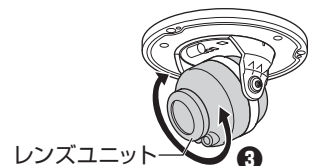
水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます（①）。



垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニット部の角度を調整します（②）。調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。

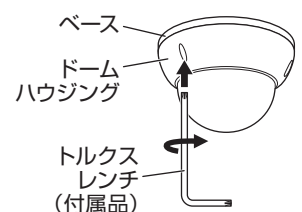


映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます（③）。レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。



- 7** ドームハウジングを元通りに取り付けます。

ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせ、ドームハウジングのネジ3本を締めつけて固定します。

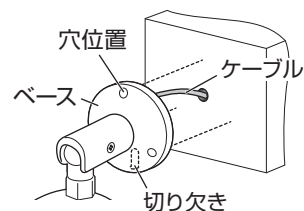


- 8** カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を確認してください。

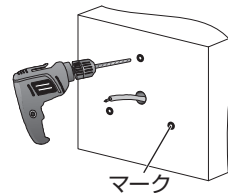
CCE3CBF1 の場合（壁面取付の例）

- 1** 取り付け位置の中央付近に径 18mm 以上の穴を開けて穴にケーブルを通したら、ベースを壁にあてがい、穴位置をマークします。

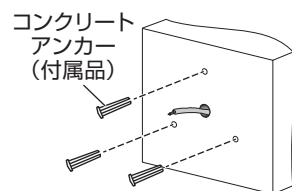
※ ベースの切り欠きが下向になるようにして、穴位置を決めてください。
※ 外部配線の場合は、ベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。



- 2** マークした穴位置に、φ 6 ~ 6.5mm のドリルで 30mm の深さのガイド穴をあけます。



- 3** コンクリートアンカー 3 本(付属品)をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

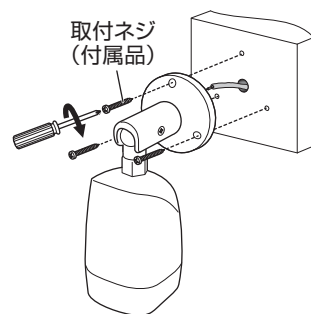


- 4** カメラを壁面に取り付ける前に、調節ネジをドライバーで緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。

※ 詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順 6 でおこないます。



- 5** すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。取り付け用の穴位置とベースの穴位置を合わせて、取付ネジ 3 本（付属品）をドライバーで締めつけて固定します。



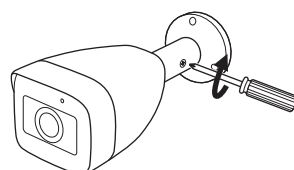
- 6** カメラの方向を調整します。

1) 調節ネジを緩めると、マウント軸、カメラ本体の角度・方向、カメラ本体を回転させることができます。

※ マウント軸は回転させる際、動きがやや固い場合があります（回転させるとカチカチとクリック感があります）。



2) カメラを目的の監視方向に向け、調整した角度や方向がずれないように注意しながら、調節ネジをしっかりと締め付けます。

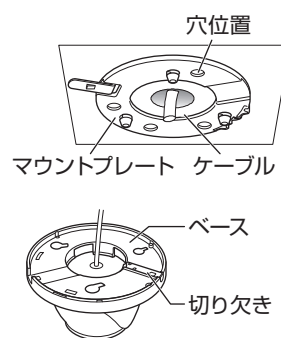
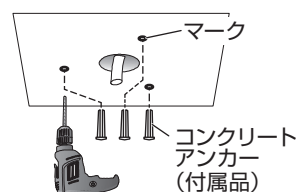
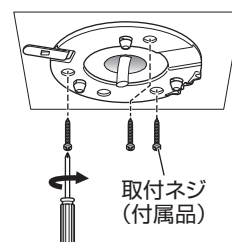


- 7** カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を微調整してください。

CCE3CDF1 の場合（天井取付の例）

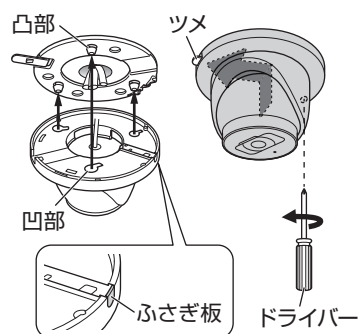
1 カメラを取り付ける位置を決め、マウントプレートを天井にあてがい、穴位置をマークします。

- ※ 外部配線の場合は、ベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。ケーブルの向きに注意して方向を決めてください。
- ※ 壁面に取り付ける場合は、ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。

**2** マークした穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけ、コンクリートアンカー3本（付属品）を穴に打ち込みます。しっかりと固定されていることを確認します。**3** 穴位置に合わせてマウントプレートを天井にあてがい、取付ネジ3本（付属品）でマウントプレートをドライバーで締めつけて固定します。しっかりと固定されていることを確認します。**4** カメラを取り付けます。

天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、マウントプレートの凸部とベースの凹部の位置、さらにツメの向きを合わせて差し込み、天井に押し当てます。その後ツメの方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせ、カメラを固定します。

- ※ マウントプレートを差し込む前に、右図位置のネジを緩めてください。
- ※ 外部配線の場合は、ベースの切り欠きにあるふさぎ板を切り取り、ケーブルを通して配線してください。

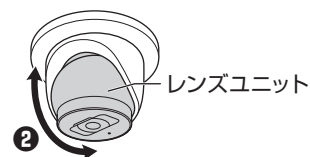


5 レンズの方向を調整します。

水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます (1)。



垂直方向に調整する場合は、レンズユニット部の角度を調整します (2)。

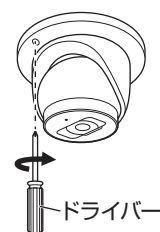


映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます (3)。

レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。



6 位置が決まったら、右図の位置のネジを締めて固定します。



7 カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を微調整してください。

設定

設定について

本製品をデジタルビデオレコーダーに接続し、デジタルビデオレコーダーの管理画面からカメラの設定を行ってください。

管理画面の表示のしかたは、デジタルビデオレコーダーの取扱説明書をお読みください。

その他

使用上のご注意

〈対応デジタルビデオレコーダー〉

- 本製品は、DX アンテナ製の CCE3R シリーズデジタルビデオレコーダーに対応しています。

〈時計機能〉

- 本製品は、日付や時刻などの時計情報が保持されません。そのためには、デジタルビデオレコーダーと同期をとるように設定（デジタルビデオレコーダーの工場出荷時設定）をする必要があります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながる可能性があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップをとるようにお願いいたします。
- 本製品に電源スイッチはありませんので、電源を切る場合は、PoC 給電装置の電源をオフにしてください。
- 本製品の取扱いは慎重をお願いします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 筐体に強い衝撃や振動を与えますと、故障、浸水の原因になります。
- ご利用の設備、環境により画像更新速度が遅くなる場合があります。
- 同軸カメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合には、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがございます。これは撮像素子に CMOS センサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するものですので、同軸カメラの異常ではありません。設置状態を再確認し、同軸カメラ本体を安定した場所に設置すると現象が軽減します。
- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- コネクタ部は自己融着テープ（別売）の上にビニルテープ（別売）で防水処理を行ってください。
- 設置やお手入れの際は電源をオフにしてから行ってください。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。
- 本製品の識別および電源、その他の表示は機器に貼り付けてあるラベルをご確認ください。

- 高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 外的要因などにより、まれに録画できない場合が発生します。随時、録画状態の確認をしてください。



この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 施工時、天井や壁などに傷や破損など起きても責任は負いません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈防水対策する場合の注意〉

防水対策をする場合は、以下の点にご注意ください。

- ケーブル先端を露出させないでください。
- 水の中にケーブルコネクタを入れないでください。
- 一度取り外したネジ類は確実に締めてください。

〈電源に関する注意〉

- 本製品に電源スイッチはありません。設置工事の際は、PoC 給電装置の電源をオフにするか、同軸ケーブルを外してください。

〈本製品の取り付け場所に関する注意〉

- 本製品は建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。また、天井に取り付ける際には、お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、十分に強度がある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 市販の防犯カメラ取付金具や他金具などを使用する際は本製品に適した施工をしてください。
- 石こうボードや木部には強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けられる場合には、十分な補強を施してください。

〈設置場所について〉

- 直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態（防水対応モデルでは雨天で雨が当たるのは問題ありません、滝のように常時流水がかかる場所を避けてください）で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- プライバシーを侵害する映像が映る場所への設置はしないでください。（トイレ、更衣室、道路など）
- 以下のような場所での設置および使用はできません。直射日光が当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所（防塵対応モデルにおいてもレンズへの粉塵付着で劣化や傷の原因となります）

〈設置作業前の注意〉

- 当社の同軸カメラおよびデジタルビデオレコーダーを使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務など）のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、保証いたしません。
- 設置には、付属の設置用ネジセットまたは、取り付け場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。
- レンズまたはカバーに付いている保護ビニールは施工中に外すと傷など付く恐れがあるので設置後に外してください。

〈取り付けネジの締め付けに関する注意〉

- ネジは取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ネジの破損の原因となります。
- ネジはまっすぐ締めてください。締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

〈雷に対する保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使ってデジタルビデオレコーダーをネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈PoC による電源供給に関する注意〉

- DX アンテナ製の CCE3R シリーズデジタルビデオレコーダー、および PoC 対応の機器、または給電装置を使用してください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における® および TM は省略させていただきました。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。This product is designed for use in japan only.No technical support is available in foreignlanguagesotherthan Japanese.

カスタマーセンター



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

土・日・祝日もご利用ください!

ナビダイヤル

DXアンテナ株式会社

■受付時間 9：30～17：00（夏季・年末年始休暇は除く）

■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合：050-3818-9016

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>